

【資料1】

平成21年度 唐津市立鬼塚中学校 学校評価計画

1 学校教育目標
「感動 感謝 思いやり」 ～ 豊かな人間性・確かな学力・たくましい身体の育成 ～

2 学校経営ビジョン
<p><めざす学校像> ①感動と感謝、思いやりと信頼で結ばれた、豊かな人間性を育む学校 ②活気と知性に満ちあふれた学校 ③規範意識や自立の心を育てる学校 ④家庭・地域・小中と連携し、信頼され支援される開かれた学校</p> <p><めざす生徒像> ①感動と感謝、思いやりのこころを持ち、仲良く助け合い協力する生徒 ②意欲的に学び主体的に行動する生徒 ③基礎基本をしっかり身に付け、生活の中で活かしていける生徒 ④自他の尊厳を認め、人の痛みに共感できる生徒</p> <p><めざす教師像> ①使命感にあふれ、優れた指導力と実践力のある教師 ②教育愛に満ち豊かな人格で人間味あふれる教師 ③人権を大切にす教師 ④保護者、地域社会より信頼され、心身ともに健康な教師</p>

3 本年度の重点目標	4 前年度の成果と課題
① 豊かな人間性の陶冶 ② 学力の向上 ③ 健全な身体づくり	<p><成果>①教職員の資質向上において、充実した研究授業と授業研究会が行えた。 ②小学校との連携が充実し、授業研究会や教育相談の研修が深まった。</p> <p><課題>①学力調査において、ほとんどの教科が平均値を下回っており、教科によっては、二極化がみられる。 ②学力下位の生徒の中には、基本的な生活習慣が身につけておらず、家庭学習を含めた学習習慣の定着が課題である。</p>

5 総括表				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○学校経営方針	学校教育目標および本年度の重点目標の周知	教職員、生徒、保護者への周知を図る。特に保護者の周知率を80%以上にす。	・職員会議、全校集会で理由とともに説明する。 ・総会や保護者会への参加を促す工夫をし、各種たよりやホームページで周知を図る。
	○教職員の資質の向上	授業の指導力の向上	教科ごとに授業研究会を運営し、教科の力量をつける。	・国社数理英については毎年、技能教科については隔年で授業研究会を実施する。
教育活動	●学力向上	学習規律、学習習慣を身につけさせる指導の徹底	各教科で県及び全国学力状況調査等で県平均と同等の結果を出す	・「授業の約束」の徹底 ・家庭学習習慣の定着のため、国・数・英について毎日課題を与え、提出させる。 ・帰りの会で基礎基本を定着させるためのドリル学習を実施する。
	○生徒指導	生徒指導の充実	正しいことと間違っていることの区別ができ、正しい行動ができるといえる生徒の割合を80%以上にす。	・全職員で取り組む内容を確認する。 ・全校集会等を通して重点課題を明確にし、生徒の規範意識を高める。
	●心の教育	道徳教育の充実	全クラスで保護者に道徳授業を公開する	・授業後の感想等を生徒や保護者に知らせ、思いや考えを共有する。
	○特別活動	特別活動の充実	自己肯定感(自分の良さを見つけられる)をもつ生徒の割合を80%以上にす。	・仲間づくりのための体験活動を実践する。 ・キャリア教育を実践する。
	●健康・体づくり	食に関する指導	朝食を食べてくる生徒の割合を95%以上に上げる。	・健康調査で確認をする。・アンケートを実施する ・たより等で、家庭の協力を得る。
特定課題	○中学校学習環境改善充実	少人数・TT指導の充実	英教ともに県学力状況調査等で県平均と同等の結果を出す	・計画的に少人数・TT指導を行ない、興味関心を高め、個々の学力向上を図る。
	○小学校・家庭・地域との連携	小学校・家庭・地域との連携充実	TTを含む小中授業研究会を年2回実施。合同教育講演会の広報を徹底させる。授業参観の出席率を50%以上にす。	・3校授業研究会を実施し共通課題を明らかにす。 ・教育講演会を実施し、保護者と教育問題を考える。 ・授業参観により家庭学習の充実を図る
	○部活動	部活動の活性化	自分の目標に向かって自主的に頑張れたと思う生徒の割合を80%以上にす。	・目的課題意識をもたせ、協力、自主性を身につける指導を行う。 ・場に応じた礼儀の指導を行う。

●は共通評価項目、○は独自評価項目